

# 職員室から・・・

2009、10、29

加藤由美子

毎年この時期に、新潟小学校の5年生の方が幼稚園の年長さんと遊ぶ機会を計画して幼稚園を訪問してくれます。

今年も、20日(火)に来てくれました。8人の青陵幼稚園を卒園した子どもたちです。あ～あのころ、この子はこうだったな～とか幼稚園のころのことを思い出して懐かしい思いで待っていました。

ピンポンとインターホンが鳴って出て行くと、きちんとしたご挨拶「こんにちは、新潟小学校の5年生です。」・・・ここからしてもうすでに成長した子どもたちの姿が見られ驚きでした。・・・小学生の子どもたちからは“自信”が感じられました。

中に入ると「あの、すみません、お願いなのですが、事前にファックスでお知らせしていたこととは違うのですが、じゃんけん列車が終わって、時間があったら歌を歌いたいのですが、ピアノを借りてもいいですか？」と女の子、予定変更である旨しっかりと伝え、自分たちがやりたいことを申し出ることができる力に驚きでした。

玄関に入ると、「よかったら傘を置かせてもらいたいのですが、場所はどこですか？」と聞いて・・・この言葉にも驚かされて、あらためて5年という歳月を思いました。さて、遊戯室に入ると、「カセットのやり方をまだ聞いてなかったの、教えてください」といい、使い方を教えていると・・・大きいお兄さんお姉さんが大好きな、赤ばらのY君が玄関からずつついて来ていて、音響装置をさわりました。するとお兄さんが「これはね、大事なものだからね」と優しく教えてくれます。Y君は「なにすんの？」お兄さん「あのね、これから青ばらさんと一緒にあそぶんだよ、きみも青ばらさんになったら一緒に遊べるからね。」と肩を抱きながら優しく教えます。Y君は素直に保育室へ戻りました。

遊戯室では、遊んでいた青ばらさんが片づけを始めていました。担任がうたうお片づけの歌を聞いたお兄さんが「なつかしい～、この歌～」と言っていました。そうそう、変わらないものに出会うことって大事なことなのです。懐かしいあの頃に戻ることが出来るという貴重なことなのです。変わらないものを大切に思うことが出来ますように・・・さて、小学生の皆さんは、鬼ごっこをやる説明に入ります。

まず小学生の皆さんを青ばらさんが捕まえる鬼ごっこの説明、女の子たちがさっと、子どもたちの後ろに回り、男の子たちが前に立って説明に入りました。やり方を実際にやってみせて、詳しく説明、捕まえる人は・・・分かりやすい手順のいい説明でした。

綿密に計画してきたのでしょね。

鬼ごっこは小学生8人が逃げて、青ばらさん全員が鬼ですから、すぐに捕まってしまう

ます。お兄さんお姉さんを全員捕まえると、青ばらさん「はや！」今流行の言葉ですね。お兄さんたちが「じゃあ前のほうに集まってください」と指示をすると、さ～～と集まる青ばらさん、毎年小学生の訪問を受けると在園の年長さんがどのように行動するかが見られて、確認の意味も含めて小学生の訪問は楽しみなのです。

-----ここで私はお客様のためこの場を離れました。-----

そして戻ってくると、じゃんけん列車が終わり、お兄さんお姉さんが歌を歌ってくれました。8人の男の子も女の子も全員が声を出して、はっきりとそれぞれの声が重なって聞こえてきました。成長した小学生の姿に感動して、涙があふれて-----歌声はなおいっそう人の心を揺さぶりますね----- “愛おしい小学生”なんていったら嫌がられるかもしれませんね。

○ ある日、年長の女の子が、走ってきて私の横を走り抜けながら、「先生、手みせて」というので 「は～い」と手を差し出すと、じっとみて「しわだらけ～ としよりだね～」と行って走っていきました。 “ガ～ン”とずっこけていると、後から走ってきた女の子が「しょうがないじゃん、年だもん！」・・・二度ずっこけました。

さて、傷心(笑)の私は職員室へもどり、パソコンで仕事を始めました。すると、赤ばらの女の子が側に来て、「なにしてんの？」私「お仕事よ～」女の子「へ～～仕事なんてするんだ～」と一言、私たちはいつも遊んでいるからまさか仕事をしているとは思わないのでしょね。それから、女の子はしばらくじ～っと私の顔を見ていましたが、「おきい“しみ”があるね、ほっぺのどこ」 “ガ～ン” とどめのカウンターパンチ！赤ばらの女の子は続けて「うちのおかあさんもしみあるけどね、いっちゃんいけないんだよ、ないしょなんだよ。」ですって・・・フフフ・・・

○職員室に遊びに来た白ばらのAちゃんと本を見ていると、サンドイッチが描かれたページがありました。美味しそうだね、と見ていると、「あのね、おおきくなったらね、おかあさんとサンドイッチつくるんだよ」とAちゃんが言っていました。大きくなったらお母さんと一緒にやる事があって、楽しみに待てるっていいですね。

お母さんと大きくなったAちゃんとサンドイッチを作っている温かな情景を思い浮かべて、私も幸せな思いにさせてもらいました。